

## Report\_1……男女共同参画セミナー

### 「お坊さんに学ぶ!! 絶品カレー～美味い料理で男を上げる」を開催しました

7月17日、鎌倉市とかまくら男女共同参画市民ネットワーク「アンサンプル21」の共催による男女共同参画セミナーが開催されました。

講師は、浄智寺ご住職の朝比奈恵温さん。オリジナルカレーが評判をよんでいる朝比奈ご住職にオリジナルカレーを作ることになったいきさつや料理の楽しさ、男性の料理への向き合い方など、お話をさせていただきました。

定員を上回る申込みがあり、関心の高さがうかがえた本セミナー。梅雨の合間の晴れた昼下がり、浄智寺の書院でいただく「恵温カレー」は格別なもの、参加者の皆さんは舌鼓を打ちながら、朝比奈ご住職のお話を熱心に聴いていらっしゃいました。



## Report\_2……男女共同参画推進市民講座

### 「当事者が語るモラル・ハラスメント～自分と子どものこころを守るために」を開催しました

8月6日、鎌倉市と県立かながわ男女共同参画センター（愛称：かなテラス）の共催による男女共同参画推進市民講座が開催されました。

家庭内で起こるモラル・ハラスメントについて、モラル・ハラスメント被害者同盟を主宰されている熊谷早智子さんに、ご自身の体験を交えてご講演いただきました。

参加者の皆さんにご記入いただいたアンケートでは「モラハラ被害にあっているという自分自身の自覚が持てた」「話が具体的で、自分の状況がよく理解できた」などの感想をいただき、モラル・ハラスメントの理解を深め、自分の人生をどう生きるのか、また、モラル・ハラスメントに悩んでいるひとへどのような支援ができるのか、考えるきっかけとなる講座でした。

#### \* 鎌倉市女性相談のご案内 \*

夫婦、家族関係、セクシュアル・ハラスメント、女性に対する暴力など、お気軽にご相談ください。専門の女性相談員が、問題解決に向けてあなたと一緒に考え、気持ちの整理のお手伝いをします。相談は無料です。秘密は守ります。

【鎌倉市女性相談（電話・面接 ※面接は予約制です）】

☎0467 (23) 9311

月～金曜日（祝日・年末年始を除く）  
10時～13時 / 14時～16時30分

## ギャラリー カトレヤ カルチャー

カトレヤビル2F  
美術・工芸・手芸・写真などの展示にご利用ください。

カトレヤビル2・4F  
バレエ・ダンス・ヨガ・水彩画・書道・キルト  
その他たくさんの講座があります。

鎌倉市小町1-5-27（鎌倉駅東口徒歩1分）  
TEL 0467-23-2530 FAX 0467-24-3638

カトレヤビル 検索



# Passport

女と男の豊かな生き方を探る情報誌

パスポート

## INDEX

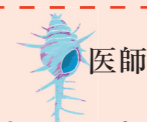
- すてきな生き方……医師 酒井太郎さん
- 特集……女性の活躍を応援します！
- Report……「お坊さんに学ぶ!! 絶品カレー」 / 「当事者が語るモラル・ハラスメント」

Vol. 49  
2016 鎌倉市

## すてきな生き方



## 医療ボランティア活動で東奔西走する 鎌倉の“赤ひげ先生”



さかい たろう  
医師 酒井太郎さん  
(雪ノ下在住)



「生まれも育ちも鎌倉、松ノ湯で産湯を使い、人呼んでタローちゃん。鎌倉で一番休診日の多い診療所です」と自己紹介するのは、「さかい内科・胃腸科クリニック」の酒井太郎院長。休診といっても酒井院長の医療活動はあちらこちらで止むことなく続いています。

「松ノ湯」はご実家で、戦後祖父母が八幡宮前若宮大路に地域の方々の健康の手助けにと開いた公衆浴場。物心ついたときから銭湯コミュニケーションの中で育ち、「松ノ湯」は廃業になった今でも、「自分の原点」と話されます。医学部に進学し大学病院勤務を経て、医療先進国アメリカの病院で5年間修行を積んで帰国。どんな人もリフレッシュできる銭湯のようなクリニックになればと、2007年雪ノ下に内科・胃腸科クリニックを開業しました。

アメリカでの5年間は、酒井院長の幅広い医療ボランティア活動を推進する発想や行動力を培う武者修行でもありました。「帰国後は後輩たちから『英語がどれくらいできるようになったら海外に行けますか』とよく聞かれたけど、できるようになってから行こうと思ったら一生行けないので行って苦勞すればいいですよ」と笑って話されました。

路地や斜面地、渋滞の多い土地柄なので、クリニックまで来られない患者さんは自転車で行診しています。東日本大震

災直後は宮城県南三陸町で避難所に行けず自宅をひたすら助けを待つ方々を往診して回り、熊本地震でも熊本県益城町へ医療支援に行かれたそうです。ミャンマーの無医村を移動クリニックで回るNPOでの活動も行うなど、東奔西走です。

また、「鎌倉に震災銭湯をつくる会」共同代表を担い、2013年、14年、16年と震災のドキュメンタリー映画祭を開催。

身障者の患者さんが「海があっても行けないし、泳ぐこともできない」と言うのを聞いて、1日だけでも海水浴を楽しんでもらおうと、介護・福祉関係の仲間とともに「鎌倉バリアフリービーチ」を企画し、昨年7月に約20組の参加者を迎え初開催しました。取材にお伺いした時には、その第2回を目前に自ら作ったシンボルマークをミシンで刺繍したTシャツを初公開してくださいました。

今年7月24日、当日の材木座海岸は好天に恵まれ、早朝からボランティアさんたちが集まって、厚いベニヤ板を順路に沿って敷き詰めたり、浮き輪がついたリクライニング式車椅子を数台運び込んだり、幟を立てたりと、きびきびと準備に勤しみました。今年は県内外からの46組の申込者に、それぞれ5、6名のサポーターがついてフォロー。

参加者は緊張と期待をない混ぜにして海へ入りましたが、ひとしきり水に浸って帰ってきたときにはその笑顔は弾けていました。不自由な体を精一杯伸ばしてVサインを挙げる人、指を3本、それから9本立てて感謝を伝える人など、支援する人たちと一体となって感動を分かち合っている、そこには身障者と健常者、性差、年齢差もなく触れ合い協働するバリアフリーの世界がありました。

# 女性の活躍を応援します!

## ■まずは男性の意識改革から

昨年秋、「かながわ女性の活躍応援団」が結成されました。

県知事を中心に男性ばかりがずらりと並んだインパクトのあるポスターを、どこかでご覧になったことがあるかもしれません。

一体どういう経緯でこのような応援団が結成されたのか、具体的にはどんな活動をしているのか、県立かながわ男女共同参画センター（愛称：かなテラス）参画推進課長・松谷順子さんにお話を伺いました。



### ◆◆【女性の活躍について】

——なぜ今女性の活躍が求められているのですか？

**松谷**（以下敬称略）：これまでも長い間色々な議論がされてきたと思いますが、今ようやく動き出したという印象を私は持っています。背景としては平成27年9月に閣議決定された「女性の職業生活における活躍の推進に関する基本方針」があります。わが国における15歳から64歳までの女性の就業率は着実に増加しているものの、就業を希望しているが働いていない女性も多いという状況、働いている場面においても女性の力を十分に発揮できていないと言えない状況を見ますと、働くことを希望している女性とその希望に応じた働き方を実現できるように社会全体として取り組んでいくことが求められているのだと思います。

一方で人口減少の予測から労働力不足が懸念されているので、女性の力を最大限に発揮していくことが必要であり、「女性の活躍」が求められるようになったのだと思います。

——女性の活躍を阻む要因はどのようなものがあるのでしょうか？

**松谷**：長時間労働など男性中心型労働慣行に見られるように、ライフイベントに対応した多様な働き方が用意されていなかったことが女性の活躍を制限してきたといえます。また、採用・育成・評価・登用においても男女の格差が依然として存在しているようです。

また、育児等の家庭責任を果たすために男性が仕事をセーブするのは当然とは受け止め難い職場風土があり、なかなか

男性が育児に参加できないという状況があります。

——女性の活躍を一層推進するための企業の取組みについて

**松谷**：いわゆる「女性活躍推進法」の中で「事業主行動計画」を作ることになっており、301人以上の従業員を雇用する事業主には女性の活躍推進に向けた行動計画の策定・届け出が義務付けられているので、具体的な取組みが各企業で進んでいくのではないかと期待しています。行動計画の内容は厚生労働省のホームページ「女性の活躍推進企業」データベースに公表されていますので、ご覧いただければと思います。

### ◆◆【かながわ女性の活躍応援団について】

——「かながわ女性の活躍応援団」の結成にはどのような背景があったのでしょうか？

**松谷**：日本の女性の労働力率は30歳代を谷とするいわゆるM字カーブを描いていますが、神奈川県は30歳代女性の離職率が高く労働力率が低くなっており、その深さが全国でワースト1という状況です。

この4月に「女性活躍推進法」が全面施行され動きが活発になっているところです。神奈川県ではこれまでも色々な取組みを進めてきたのですが、いわゆるM字カーブの底を上げるため、これまで以上に女性の活躍推進のために取り組んでいく必要がありました。

さらに昨年4月にこれまで江の島にあった県立かながわ女性センターが藤沢に移転して「かなテラス（かながわ男女共

同参画センター）」として第二ステージを迎えたところで、人材育成、情報発信・意識啓発、調査研究、相談の4つの機能を柱として、すべての機能で市町村を支援するほか、女性対象の意識啓発だけでなく、男性や企業、若者に重点を置いて人材育成や意識啓発を展開していくことにしました。さまざまな取組みを企画する中で特に男性と企業にスポットを当て、男性トップによる男性トップの意識改革を中心として、女性の活躍を応援する社会的ムーブメントを作り出そうという取組みとして誕生したのが、このwoman act.「かながわ女性の活躍応援団」です。

「woman act.（ウーマンアクト）」は、女性がどんどん社会の主役になって活躍していく姿をイメージしていて、「act.」はaction＝行動、activate＝活性、active＝元気に、actual＝現実に、actuate＝動機づけ、などいろいろな意味が込められています。

——応援団員（注☆）はどのような方ですか？

**松谷**：県内に本社または主要な事業所があって、神奈川県にゆかりが深い企業で、女性の活躍推進に積極的な企業のトップということをお願いしました。県からお声がけしたということです。また、県内の企業のトップの9割が男性という中、女性の活躍を推進するためにはまず男性トップの意識改革をすることが必要であって、さらに男性トップから男性トップに働きかける方が効果的であると考え、敢えてメンバーは男性に限っています。結成にこぎつけるまでには、本当に結成できるのかなという不安もあったのですが、こんなにも社会的に影響力の強い企業のトップの方々にご賛同いただいて応援団を結成できたことは大変ありがたく感じているところです。

——事業は事前の思い通りに進められましたか？

**松谷**：始めから応援団の全体像のイメージができていたわけではなかったのですが、最終的にはこのような形になってよかったと思います。昨年11月に応援団の結成式を行いました。日産自動車のゴーン社長はビデオメッセージによる参加という形で、知事と10名の応援団全員が参加しました。県庁にこれだけ多くの企業のトップが集まったのは初めてなのではないかと知事も驚いていました。

結成式では女性の活躍を一層推進するために、応援団としての「行動宣言」だけでなく、団員お一人お一人に個別の行動宣言（注★）をしていただき、その中で自社内の取り組みだけでなく、社会的なムーブメントを広げるための取り組みも目標として掲げていただくことをお願いしました。企業が応援団ではなく、そのトップの方が応援団員という形、個人での賛同というのもユニークな点かなと思っています。

——事業を進める経緯で印象的だった企業側からの反応や思いがけない進展はありましたか？

**松谷**：県がさまざまなPR活動を行った中で、「女性が、どんどん主役になる。」というキャッチフレーズと一緒に男性ばかりが並んでいる写真がインターネット上でかなりの注目を集めました。ツイッターでいわゆる炎上状態になったり、TVのキー局から取材申し込みがあったりしたのは、私たちも予想外でした。そこで、知事が先頭に立って「何故男性ばかりなのか」ということをTV、県ホームページの「かなチャンTV」、広報紙などで伝えるようにしました。注目を集めたことで、興味を持ってもらえて、説明するよい機会にもなりましたし、コンセプトがはっきり伝わったのではないかと考えています。

——今後どのように事業を継続していく予定ですか？

**松谷**：いろいろな取組みがあっと思っていますが、神奈川県の特徴を踏まえて、男性が男性に呼び掛けるというコンセプトは続けていきたいと思っています。9月29日には、10名の企業等トップが新団員として参加しますので、総勢21名の団員を中心に社会的ムーブメントを拡大していきたいと思っています。最終的には「応援団」がなくても誰もが働きやすい環境の実現を目指しています。

——鎌倉市の事業者には「かながわ女性の活躍応援団」のどこに注目してほしいですか？

**松谷**：女性の活躍推進に向けた行動計画の策定は、従業員300人以下の企業には努力義務ですが、「応援団」全体の行動宣言と個別の行動宣言、各応援団企業の具体的な取り組みの内容をウェブサイトなどでご覧いただき、ぜひそれぞれの事業所に参考となる点を見つけて、取り組んでいただければと思います。

「女性の活躍」に関心の高まっているこの時期に、意識の高い方々を中心にまず取り組んでいただくこと、そしてそれを他の人たちにも働きかけていただければと思います。

\*

注☆ 応援団員：次の企業のトップと知事により結成。  
[H27] (株) アイネット、京浜急行電鉄 (株)、(株) 資生堂、(株) 高島屋、(株) ツクイ、日揮 (株)、日産自動車 (株)、(株) ファンケル、富士通 (株)、(株) 横浜銀行

[H28] アサヒビール (株)、アツギ (株)、麒麟ビール (株)、JFE スチール (株)、第一生命保険 (株)、飛鳥建設 (株)、日本発条 (株)、富士フィルムホールディングス (株)、富士屋ホテル (株)、横浜国立大学

注★ かながわ女性の活躍応援団（公式サイト）  
<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0050/womanact/>



かながわ男女共同参画センター  
参画推進課長 松谷順子さん